

季刊 旬のブンカが集うコミュニティマガジン

2018 vol. 69  
SUMMER

# ブンカ

BUNKA

Essay

山岳エッセイスト 増永迪男氏

Interview

100年以上前の作品に  
お客様を惹き込んでいくのが  
歌の力、我々の責任

テノール歌手 藤田卓也氏、バリトン歌手 成田博之氏

アートな人々

イラストレーター 多田くにお氏



旬の文化が集うコミュニティマガジン 季刊  
ブンカ BUNKA vol.69 2018.6.15

発行/公益財団法人福井県文化振興事業団 福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」  
〒918-8152 福井市今市町40-1-1 ☎0776382288 <http://www.hrc.jp>

 (公財)福井県文化振興事業団



ハーモニーホールふくい



平泉寺白山神社参道  
 高橋治「さまよう霧の恋歌」から (勝山市)

かつて六千坊といわれた寺院のまちで  
 歴史ロマンスが紡がれる

今年度の表紙は、「文学の中に登場したふくい」をテーマにお届けします。今号は、勝山市平泉寺を舞台にした高橋治「さまよう霧の恋歌」です。

記憶をなくしたヒロインが、平泉寺の集落に現れるところから物語は始まります。冒頭、地元で刀研ぎを営む武部とともに参道を訪れた彼女は、ここに来たことがあると言います。夕暮れが迫る中、参道の鳥居の奥から降りてくる霧。「この石段



終盤の重要なシーンとなる平泉寺墓地。川を挟んで集落の中心から少し離れたところにある。もともとこの辺りには平泉寺の僧侶の墓があったが、大正3年に区民によって造成され集落内の墓地がまとめられた。室町時代末期の石仏や五輪塔と区民各家の墓が混在している



高橋治「さまよう霧の恋歌」(上下巻)1991年 新潮社刊



平泉寺の集落。石垣や土蔵など集落内の情緒ある風景が、物語の霧気味のベースになっている



平泉寺白山神社拝殿。深い苔に覆われた境内は平泉寺を象徴する風景だが、物語には登場しない。冒頭シーンでヒロインはここに足を踏み入れることをめらう

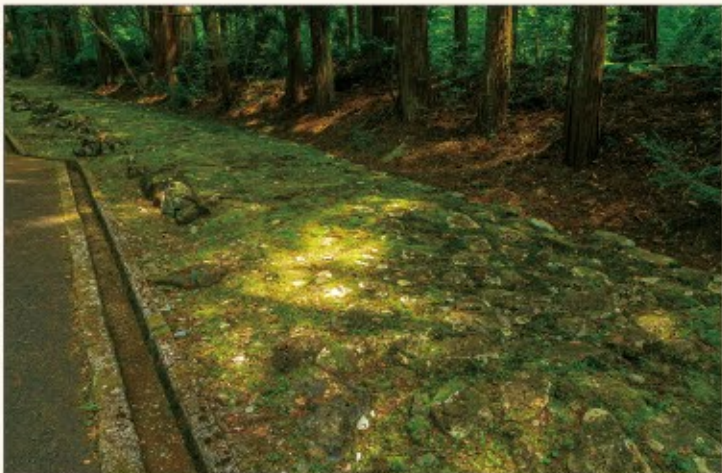


Contents

- 1 今号の表紙
- 2 Essay 物語の里 神の山 白山と平泉寺白山神社 山岳エッセイスト 増永迪男氏
- 3 Interview 100年以上前の作品にお客様を惹き込んでいくのが歌の力、我々の責任  
 テノール歌手 藤田卓也氏 バリトン歌手 成田博之氏
- 5 「ハーモニーホールふくい」自主公演情報
- 11 Information / カーテンコール
- 12 2018年7~9月開催「ハーモニーホールふくい」コンサート情報
- 13 Interview アートな人々 イラストレーター 多田くにお氏
- 14 福井の手しごと「化石クリーニング」(勝山市)  
 逸品拝見「越前茶房 和樂」(永平寺町)
- 15 福井県内イベントカレンダー
- 18 イベントピックアップ

ESSAY

物語の里  
 神の山 白山と  
 平泉寺白山神社



その昔、人々が川原の石を敷き詰めた菩提林の参道

文学と平泉寺、このテーマでしばらく考えていると、広々とした山野が浮かびあがってくる。静かで深い自然です。

古代に始まった、白山を神とする信仰は、大きく分けて、越前、加賀、美濃・尾張と、三つの広がりがあったのだが、白山に最初に登ったと伝えられる、越前麻生津の人、泰澄を思えば、越前を白山信仰の大きな源と考えてもよいだろう。加賀、美濃ともに伝承として、白山登拝の始祖を泰澄としているのだから。

四季折々、晴れた日の越前の平野からは、白山が美しく眺められる。人々が神として仰いだ太古の白山は、原始の森に深く覆われていたことだろう。人々の姿がまだ見えな

い森です。霧に包まれた森の中から、何かが見えてきそうです。

そのように福井と白山を考えて、勝山市の平泉寺地区に近づく、白山神社への道を覆う、菩提林と呼ばれる杉の森が見えてくる。信仰の雰囲気にあふれた黒い森だ。

境内には、古い白山神社の境内には、菩提をほはじめとして、仏教に関わる名称が多く残されているが、これは平安時代から明治維新まで、白山神社が寺であったことの名残です。明治四年の神仏分離で白山神社となりました。

さて、入り口からしばらく、アスファルトだった菩提林の道に、やがて石畳の古い道が現れる。川原の石を敷き詰めた数百メートルにもなる参道だ。戦国時代には平泉寺の僧兵らが駆け下り、駆け上がった道。今は苔に覆われているけれど、敷き詰められている黒い石は、僧兵たちの足音を、まだ覚えているのではないだろうか。

石畳の道からも、物語が生まれそう。

そのころの寺の威力は、八万石ほどもあったと言われている。

その一方で、日々修行に勤め、仏教の奥義を求めていた、という記録は残されていない。長い参道を上り、杉の森を通り、一面の苔が美しい拝殿前で辺りを見回すと、古い時代の平泉寺の規模の大きさに驚かされる。ほんとうは更にさらに広いのだが、川から運ばれた多くの石、建物を支えていた巨大な石組。

これらはみな、人々の労力を集めて作られたものだろう。

う。人口の少ない時代に、六千坊と言えるほどの寺を作れたのは、白山の力だった。

古代から尊敬を集めてきた白山の、遥拝所としての平泉寺。寺の名前は遠くまで広まって、平安を願う貴族や、勝利を願う大名から、多くの寄進が寄せられる。

やがて、白山登拝の素朴な基点は大寺に変わり、人々の欲望が渦巻く所となってゆく。そしてお仕舞いにその渦に、平泉寺は呑みこまれたのです。大寺は焼け落ちる。

今は苔ばかりの境内に立ち、辺りを眺めていると、なにかしら気配が感じられる。それは、むなしく散っていった、過去の人々の感情だろうか。

優れた感性をもつ作家だから、新しく物語を編み出すこともあつたのだから。

山岳エッセイスト  
 ますなが みちお  
 増永迪男



出身地/1933年 福井市生まれ  
 著 書/福井の山150  
 夜明けの霧の山  
 日本海の見える山 など



テノール歌手  
藤田卓也  
HIROYUKI NARITA  
成田博之  
バリトン歌手

ふじた・たくや(右)●鳥根大学卒業、同大学院修了後、渡欧。KOBE国際学生音楽コンクール1位、ドヴォルザーク国際声楽コンクール2位など受賞歴多数。北九州シティオペラ会員。藤原歌劇団員。くらしき作樂大学、大阪音楽大学非常勤講師。文化庁派遣により渡伊。国際ミロブローロス声楽コンクール最高位など受賞歴多数。オペラ界のトップスター4人による男声ユニット「THE JADE」メンバー、二期会会員

「野球少年と音楽鑑賞が趣味の少年が  
声楽家を目指すようになったのは

藤田さんは山口県、成田さんは宮城県の出身。幼い頃から音楽を学んでいたわけではなかったのですが、いつ声楽と出会ったのでしょうか。

藤田「小学校から高校まで、プロを目指す野球少年でした。でも地方予選のベスト8止まり、そんな時、文化祭で友人とやったア・カベラが楽しくてハマってしまいました」

ア・カベラの勉強をしようと

「その時しか歌えない歌がある  
今の自分を歌に出せるように」

身体が楽器である声楽家。日頃はどんなことに気を遣っているのでしょうか。

藤田「栄養素が偏ると如実に声に出るので、食事には気をつけますね。お酒は、飲むと朝まで飲んでしまうタイプなんです。声のことを考えてセーブしています。声楽家という道を選んだことで、神様が、僕を健康で長生きさせてくれたらいいなと思うことにしています」

成田「僕は、お酒はいい友だち。このお酒がこの料理をこんなにおいしくしてくれる！という組み合わせに出会うと本当に幸せ。この幸せを味わうためにも健康でいなくちゃと思ってます」

藤田「でも外国の歌手を見ると、本番当日の朝も昼もワインをがぶがぶ飲んでますよね」

成田「彼らを見てると、いくら飲んでもいい声で歌える、僕らとは違う発声法があるんじゃないかと思えてくる。僕らもそれを探した方がよくない？」

すっかり酒談義になってしまいました。もちろん舞台でのパフォーマンスが一番大事です。成田「あくまでも今の自分の歌を聴いてほしいという気持ちがあります。声楽は年齢による変

100年以上前の作品に  
お客様を惹き込んでいくのが  
歌の力、我々の責任



それぞれの少年時代、学生時代の「こだわり」も、まるで昨日のことのように披露し合ったお二人



男声オペラ歌手4人のユニット「THE JADE」のステージ



藤原歌劇団公演「カルメン」(2017年)

「オペラの面白さを伝えるのは  
自分たちの使命

オペラをもっと身近に感じてもらうために、藤田さんは、地元山口県で芸術祭や「おもしろオペラ塾」などの企画を開催。

成田さんは、男声オペラ歌手4人のユニット「ザ・ジェイド」での活動や、「能代オペラ音楽祭」(山形県)で市民オペラのプロデュースなどを行っています。

藤田「山口県はクラシック音楽の演奏会が少ないので、まず面白さを伝えるのが自分の使命」

成田「東北人は引っこ込み思案なところがあるので、音楽がみんながひとつになれるきっかけになればいいなと思っています。歌手はサービスピリットが大切です。歌は、何とかが振り向いてもらおうといういろいろやっています」

最後に、音楽以外に熱中していることを伺ってみました。

藤田「移り変わる景色を見ながら走るのがいい気分転換になるので、ドライブが好きです。元野球少年なので、動画サイトで野球のスロー映像を見比べるのも楽しみ。大谷のバッティングフォームの変化を分析したりするのが面白くて」

成田「僕はクルマも好きだけどカメラも好きで(と撮影中のカメラマンが持っている機種に興味津々)。山で撮影するのに凝っています。登山用品にかなり注ぎ込んでます。歌と全然関係ないのいいんです」

歌以外にもマニアックで熱いお二人でした。

7/13(金) 協賛: 福井新聞社

越のルビー音楽祭  
「オペラへの誘い」Ⅲ  
～カルメン・ハイライト～

●小ホール/開場 18:15 開演 19:00  
●全席指定: 3,000円 車いす席: 2,400円  
小～大学生: 半額 発売中

曲: ビゼー: オペラ「カルメン」から  
「闘牛士の歌」、「ハバネラ」ほか

※詳細はP.8へ



歌：ジュゼッペ・サッパティニー

9/25(火)

協賛：福井信用金庫

## ジュゼッペ・サッパティニー リサイタル ～心に響く歌曲を集めて～

- 大ホール
  - 開場/18:15 開演/19:00
  - S席:5,000円 A席:4,000円  
車いす席:4,000円 小～大学生:半額
- 発売中

曲リスト:ベトラルカの3つのソネット  
ブッチーニ:太陽と愛、愛の短い物語  
レオンカヴァッロ:君はどう?  
ナポリ民謡から

ほか



(共催：FBC福井放送)

### 歌は自分のすべて これぞサッパティニー

「私の仕事は、劇場に来てくれたお客様を幸せにして帰すことなんだよ。お客様はホールに足を運んでもらうだけでいい。その後は私が引き受けます」と、今年1月に行われたインタビューで茶目つ気たっぷりに語ってくれたサッパティニー。楽しさと感動があふれるステージをお約束します。

テノール歌手として人気絶頂時の約10年前、指揮者に転身したサッパティニー。60歳を機に、再び歌手活動を始めたのは、「自分にとって、すべてに責任を持って表現できることは何だろうと問いかけた時、それは歌うことだと思った」からだそうです。30年来の友人で、指揮者仲間でもあり、「ずっと私のオフィシャルなピアノ伴奏者と思っていた」マルコ・ボエーミに相談したところ、大賛成してくれたそうです。ボエーミと組んでのツアーが実現することになりました。

「自分がすべてに責任を持



左)ピアノ：マルコ・ボエーミ 右)歌：ジュゼッペ・サッパティニー

「表現」というだけあって、今回のコンサートは、選曲、構成にも並々ならぬこだわりがあります。演奏予定の曲目には、イタリアの歌曲だけでなく、リストやスペインの作曲家による作品も並びます。

「私は、自分の特徴というものがある。自分の力が最も発揮出来る作品でお客様を楽しませたいんだ。だから、レパートリーはイタリアにこだわらず、多国にまたがっている。数えてみたら7カ国語も使って歌っていたよ。それが「サッパティニーなんだ」

「アンコールも大サービスだ

「最後に歌っていたんだけど、今回はどうかな?それは当日までヒミツだね」とにっこり。最後まで目が離せません。

福井は日本ツアーの初日です。自分のすべてを懸けて、歌手として再出発のステージに立つサッパティニーと、日本の観客のファースト・コンタクト。ある意味「初々しい」緊張感に包まれた舞台を聴き逃すわけにはいきません。

10/10(水)

協賛：セーレン株式会社

## ブルガリア国立歌劇場 オペラ「カルメン」 (字幕付原語上演)

- 大ホール
- 開場/17:45 開演/18:30
- SS席:12,000円 S席:10,000円 A席:8,000円  
B席:6,000円 車いす席:8,000円  
小～大学生:半額 協2割引
- 発売日/協7/10 友7/11 協友ネ7/12  
7/14 7/15

演出 プラーム・カルターロフ  
指揮 原田慶太郎  
ブルガリア国立歌劇場管弦楽団&合唱団  
演 ビゼー:オペラ「カルメン」



(助成：(一社)全国モーターボート競走施行者協議会、(一財)地域創造)



©Sofia National Opera & Ballet

「運命」の絡み合いを描く新演出が光るオペラ  
ブルガリアの名門歌劇場が、再び福井にやってきます。演目は、世界中のオペラハウスで最も人気がある「カルメン」。演出を手掛けるカルターロフは、ブルガリア国立歌劇場の総裁であり、国を代表する演出家。現地では既に上

演されており、初演のチケットは早々に完売。追加公演も完売続出という話題の作品です。カルターロフ曰く「今までの「カルメン」を知っている方、見慣れたお客様には、「新しい見方」をお届けできる作品に仕上がっている。日本ツアーを楽しみにしている。それは決して欲しない。それはそのはず。実は演出に、日本の伝統芸

能のイメージを取り入れているから。  
一足先に鑑賞したスタッフの現地レポートによれば、舞台は現代とギリシャ神話における運命の三女神「モイライ」、日本の伝統芸能の「能」のイメージを融合させているそうです。合唱団は、日本の「文楽」からもインスピレーションを受け、あくまで様式的で感情の無い存在として登場させていて、全身黒に仮面の衣裳だとか。セットも赤と黒を基調とした抽象的な造りです。時代や場所を特定するようなものではなく、登場人物3人(カルメン、ドン・ホセ、ミカエラ)の運命の絡み合いと彼らの人物描写が際立つ舞台が実現しました。「能」や「神話」の様式美と、カルメンの楽曲という情熱的な人間くささが融け合って産み出される新たな世界観。これまでに観たことのない「カルメン」になりそうでワクワクします。



ブルガリア国立歌劇場前のポスター

「基本的にはセットや衣裳は現地公演そのままのこと。前回の「トゥーランドット」では、「ハローホールふくい」の空間を活かした演出で驚かせてくれましたので、今回も独自の演出があるかもしれません。コンサートホールでのオペラ公演の魅力は、何と云っても素晴らしい音。本格的なオペラをいい音で。贅沢な時間を満喫しましょう。



キャットウォークから見た舞台

ブルガリア国立歌劇場エントランス

### 登場人物相関図

①から⑤の順でストーリーが展開します。

藤田卓也 (テノール) ①許婚者  
 吉田珠代 (ソプラノ) ①許婚者  
 勝倉小百合 (メソソプラノ) ③惹かれる  
 カルメン (情熱の女)  
 ②誘惑  
 ドン・ホセ (カルメンの虜になる軍人)  
 ④誘惑  
 成田博之 (バリトン) ⑤心変わり  
 エスカミーリヨ (闘牛士)  
 ミカエラ (ホセの婚約者)  
 ライバル

7/13(金) 協賛: 福井新聞社

## 越のルビー音楽祭 「オペラへの誘い」Ⅲ ~カルメン・ハイライト~

●小ホール ●開場/18:15 開演/19:00 ●全席指定:3,000円 車いす席:2,400円 小~大学生:半額 発売中

出 ピアノ:竹内真紀  
 打楽器:平岡愛子、山崎智里  
 合唱:渡邊朋哉(代表)ほか7名

曲 ビゼー:オペラ「カルメン」から  
 『序曲』『ハバネラ』  
 『セギディリヤと2重唱』『闘舞曲』  
 『ジプシーの唄』『闘牛士の歌』『花の歌』  
 『カードの歌』『ミカエラのアリア』 ほか

(協成:(一社)全国モーターボート競走旅行者協議会、(一財)地域創造)

ハイライトシーンをオペラ公演並みの充実度で

オペラのストーリーに沿って、その背景にあるものや聴きどころを紹介するシリーズの第3弾。今回は10月のオペラ公演の予習も兼ねて「カルメン」を取り上げます。

工場で働くカルメンは、衛兵のホセを誘惑。恋に落ちたホセは彼女のために罪を犯し、盗賊団にまで入ってしまいました。しかし、ほどなく2人の愛は冷め、闘牛士のエスカミーリヨとの恋に走るカルメン。故郷から来た婚約者ミカエラとともに一度は帰郷したホセですが、再びカルメンの前に現れます。カルメンを巡る愛の物語は、どんな結末に…。

ドラマティックな展開と際立ったキャラクター設定で、様々な深読みが出来る本作。ナビゲーターの小宮正安先生に解き明かしてもらってから聴くと、ぐっと登場人物の気持ちに寄り添えます。ソリスト4人に合唱隊8人という充実の歌手陣ですから、まるでオペラを観ているような気持ちになれますよ！

### 勝倉小百合インタビュー

勝倉さんはカルメンを何度か演じられていますが、彼女をどんな女性だと捉えていますか？

2009年に初めて演じて以来、ハイライト公演も含めると年に1回ぐらいはカルメンになっていきますね。彼女は、自分に正直で、自らの足で立つて生きている女性。「生きるも死ぬも私の自由さ、勝手だろ」と歌うところが、私は一番好きなんです。「自由」というのがカルメンを表すキーワードだと思います。

カルメンといえばフラメンコ。勝倉さんは踊りの腕前も相当なものだと聞いていますか？

「相当な」なんていったら、フラメンコの先生に怒られてしまいます(笑)。最初のカルメンのオーディションに通った時に、踊る場面があるかもしれないということに習い始めました。やってみたら楽しくて、その後ずっと趣味で続けています。基礎を習っておくと、本格的に踊るシーンではなくても、

ちょっとした形が決まるのでいいですね。今回は少しだけ踊るかも…です。

今回の共演者は、ほぼ勝倉さんと吉田珠代さんのご指名だそうですね。

成田博之さんのエスカミーリヨは、何度も学校公演で一緒にいて大好きでしたし、藤田卓也さんは藤原歌劇団でのホセ役が素晴らしい。合唱隊は、8人で100人分ぐらいの声を出せる人たちを集めました。理想のキャスティングなので、自分でも楽しみです。

勝倉さんが考えるオペラの醍醐味は何ですか？

オペラは、歌、音楽があつてこそ成り立つもの。音楽だから伝わるものが核にあります。特に歌が重要で、人間の生の歌声は、どの楽器よりも高い周波数の音が出るんです。それが人の心をふるわせ、伝わるのだと思っています。

7/5(木) 協賛: 福井テレビ

## 越のルビー音楽祭 スペシャル・チェンバーコンサート

この10年の歩みを感じ、それを越えていくために

10年目を迎える「越のルビー音楽祭」。恒例のこのコンサートは、2つのカルテット+ヴィオラ奏者で行われます。音楽祭の音楽監督を務め、このステージに音楽九重奏を書き下ろした笠松泰洋から、コメントが届きました。

「スペシャル・チェンバー」は毎年チャレンジのステージでした。前半を担ったフェスティバル・カルテット、後半のデュオ・カルテットには、様々な楽器との共演にも挑戦してもらいましたし、私も代表作となる作品をいくつも書かせて頂きました。記念すべき10周年で私が強く望んだことは、この2つのカルテットが同時に演

監修・作曲: 笠松泰洋 ヴィオラ: 笠川 恵

フェスティバル・カルテット (松谷由美、栗井亮子、山口梨恵、栗井結子)

デュオ・カルテット (家原光一郎、伊藤 彩、生野正樹、向井 航)

7/5(木) 協賛: 福井テレビ

## 越のルビー音楽祭 スペシャル・チェンバーコンサート

●小ホール ●開場/18:15 開演/19:00 ●全席指定:3,000円 車いす席:2,400円 小~大学生:半額 発売中

曲 ハイドン:弦楽四重奏曲 第76番 二短調 op.76-2[五度]  
 スメタナ:弦楽四重奏曲 第1番 水短調[我が生涯から]  
 プラムス:弦楽五重奏曲 第2番ト短調 op.111  
 笠松泰洋:ダブルカルテットと独奏ヴィオラのための "traverse" (新曲初演) ほか

奏する機会でした。彼らが一緒に演奏することで、この10年の歩みがより感じられるはず。フェスティバル・カルテットのもう一人のヴィオリストで、ドイツで活躍する笠川さんにも是非参加して欲しいと思います。ソロヴィオラと2つのカルテットのための作品を書こうと思いました。題名の「トラーヴァース」は、横切つて行く、という事です。大地や山脈、海原を渡り、次の地平に向かう、というイメージがあります。この10年に関わってくださった全ての方へ、そして自分自身も、何かを越えて次の地平に向かって行くことをイメージして、作曲しています。

福井出身者によるフェスティバル・カルテットと、レジデント・カルテットとして福井で切磋琢磨したデュオ・カルテット。同じ「越のルビー音楽祭」育ちですが、テイストはかなり違います。それが、この音楽祭の豊かさを表していると言えるでしょう。フィナーレの九重奏では彼らの音楽がひとつになり、観客も新しい地平を目にするはずです。

7/26(木) 共催: 福井新聞社

## 越のルビー音楽祭 若い芽コンサート2018

ここから羽ばたけ ふくいの若手たち

ふくいで音楽を学ぶ中学生、高校生による、「越のルビー音楽祭」恒例の若手育成コンサートです。出演するのは、2月に行われた公開オーディションで選ばれた高校生3人。今年、ピアノ、チェロ、フルートとヴァラエティに富んだ組み合わせ。それぞれが、ソロと、フェスティバル・カルテットとの共演曲目を披露します。

音楽祭も10年目を迎え、ここで初めて本格的なステージを踏み、「ふくい」以外の舞台でも活躍するようになった若い演奏家も出てきています。ふくいの音楽界の将来を担う彼らの初々しい演奏を聴きにきてください。

ピアノ: 橋本光璃 チェロ: 松谷社一郎 フルート: 金巻明希

【第1部】ソロ・ステージ  
 【第2部】弦楽四重奏との共演ステージ

出 ピアノ: 橋本光璃  
 チェロ: 松谷社一郎  
 フルート: 金巻明希  
 フェスティバル・カルテット  
 ヴァイオリン: 松谷由美、栗井亮子  
 ヴィオラ: 山口梨恵、チェロ: 栗井結子 ほか

コンサートデビューは、ステージ上で。ステージ上に客席を作り、0歳児から鑑賞出来るコンサートが今年も開かれます。子ども向けながら、曲は本格的なクラシック音楽というのが「八木ホールふくい」ならではの。毎回、子育て中のアーティストがプロデュースするのも特徴で、今回は大野市出身で京都市交響楽団のメンバーでもある松谷由美が企画。テーマは「踊りとヴィルトゥオーゾ(演奏の達人)」です。選ばれた達人のうち渡邊辰紀と遠藤終一郎は東京フィル在籍。日頃、オーケストラで活



ヴァイオリン、プロデュース：松谷由美



チェロ：渡邊辰紀



コントラバス：遠藤終一郎



ピアノ：服部真由子



「ステージでき(はじめてのコンサート)」(2017.11.5)から

### コンサートデビューは、ステージ上で

躍する3人の弦楽器奏者が、スケールの大きな音楽を服部真由子のピアノにのせて聴かせてくれます。思わず踊りたくなる楽しい曲もあるようですよ。

## 11/4(日) 協賛：日華化学 秋の子ども音楽会 「ステージできく」コンサート(仮題)

- 2回公演/大ホールステージ
- ①開場/10:30 開演/11:00
- ②開場/13:30 開演/14:00
- ※50分(休憩なし)プログラム
- ステージ席・2階席(全席自由):2,000円
- 0歳~高校生:半額
- 発売日/協 8/21 友 8/22 協友 8/23
- 8/25 友 8/26

出 ヴァイオリン、プロデュース：松谷由美  
チェロ：渡邊辰紀  
コントラバス：遠藤終一郎  
ピアノ：服部真由子  
共 制作補助：ママさんディレクターズ

若きヴァイオリニストが信頼するピアニストとともに奏でるブラームスのヴァイオリン・ソナタ・ツィクルスです。10代の頃から日本各地で演奏し現在はウィーンを拠点とする郷古廉。ヨーロッパ各地で活躍しウィーン・フィルのメンバーからの信頼も厚い加藤洋之。昨年からベートーヴェンのソナタ全曲に取り組みなど共演を重ねてきた2人の、息のあった演奏をお届けします。



ピアノ：加藤洋之



ヴァイオリン：郷古廉

### 共演を重ねてきた2人による 息びつたりのブラームス

## 11/22(木) 協賛：URALA 郷古 廉&加藤洋之 ブラームス ヴァイオリン・ソナタ・ツィクルス

- 小ホール
- 開場/18:15 開演/19:00
- 全席指定:3,000円 車いす席:2,400円
- 小~大学生:半額
- 発売日/協 8/21 友 8/22 協友 8/23
- 8/25 友 8/26

出 ヴァイオリン：郷古 廉  
ピアノ：加藤洋之  
曲 ブラームス：ヴァイオリン・ソナタ 全3曲

11/7(水)

協賛：福井テレビ

## 山中千尋 ニューヨーク・トリオ

- 小ホール
- 開場/18:15 開演/19:00
- 全席指定:4,000円 車いす席:3,200円
- 小~大学生:半額
- 発売日/協 8/21 友 8/22 協友 8/23
- 8/25 友 8/26

出 ピアノ：山中千尋  
ベース：脇 義典  
ドラム：ジョン・ディヴィス  
曲 パダジェフスカ：乙女の祈り  
ガーシュウィン：ラブソディ・イン・ブルー  
~ストライク・アップ・ザ・バンド  
サン=サーンス：白鳥 ほか

クラシックの超名曲が想像を超えるジャズに。ニューヨークを拠点に世界を駆けるジャズ・ピアニスト山中千尋が、6月リリースの新アルバム「ユートピア」を携えて来日します。キャッチフレーズは「クラシックとジャズが邂逅する、自由なる音の楽園」。パークリー音楽大学でジャズに転向しましたが、そもそも山中にとってクラシック音楽はルーツ音楽のひとつ。新日本フィルやN響との共演では、これまでも積極的に取りあげてきました。



ピアノ：山中千尋

ことで始まったようですが、リハールが進むにつれ面白いアイデアが飛び出したように、「乙女の祈り」、サン=サーンス「白鳥」といった誰もが知っ

ている超有名作品までを斬新かつ超絶技巧を駆使したアレンジで現代のジャズへと生まれ変わらせてしまいました。クラシック音楽のジャズ・アレンジは珍しいことではありませんが、この選曲は新鮮！コンサートの後には、「乙女の祈り」のイメージが180度変わったチャウカもありません。他にシューベルトやバッハの楽曲も取りあげています。

超絶技巧で遊びまくるコントラバスの名人芸。イタリアが世界に誇るスーパー・コントラバス・カルテットが福井に登場します。普段は名門オーケストラでクラシック音楽を演奏している彼らが、天才的な編曲センスとテクニックで聴かせる、そして魅せるのは、ジャンルを超えた音楽。何度も来日公演を行っていますが、そのたびに音楽ファン以外の観衆も魅了しています。毎回、日本のポップス(マッケン・サンバ)「キューティ・ハニー」などを絶妙なアレンジで披露しており今回の新曲にも注目です。



ザ・ベース・ギャング

テットの「スライド・モンスタース」がトロンボーンの魅力を示すところなく聴かせてくれました。同じ楽器によるアンサンブルならではの面白さ、奥深さを今度はベースで堪能できるステージです。

10/16(火)

協賛：福井新聞社

## 陽気なヴィルトゥオーゾ ザ・ベース・ギャング

- 小ホール
- 開場/18:15 開演/19:00
- 全席指定:4,000円 車いす席:3,200円
- 小~大学生:半額
- 発売日/協 7/10 友 7/11 協友 7/12
- 7/14 友 7/15

出 ザ・ベース・ギャング  
コントラバス  
メリゴ・ベルナルディ、アルベルト・ボチーニ  
アントニア・ビーギ、アントニオ・シアンカレポーレ  
曲 デンツァ：フニクリ・フニクラ、モドゥーニョ・ヴォラレ  
J.S.バッハ：G線上のアリア、プロコルハルム：青い影  
ベートーヴェン：ロックンロールNo.9  
サンタナ：ムーン・フラワー  
ミーナ：月影のナポリ  
星野 源 恋 ほか

## 福井のマリンバをトップ・アーティストの演奏で…

国内有数の優れたマリンバメーカーが福井にあることで、隔年で開催している「サマー・マリンバコンサート」今年も、作曲家としても名高いパーカッションリスト エマニュエル・セジオルネを迎え、小川佳津子、神谷百子、布谷史人ら、日本を代表するプレーヤーとの饗宴をお楽しみいただけます。コンサート翌日からは、奏者4人が講師を務める「福井マリンバセミナー2018」も開講します。

### サマー・マリンバコンサート2018

協賛: KOROGI  
marimba & xylophone

日程 / 8月19日(日) 開場14:15 開演15:00  
会場 / ハーモニーホールふくい 小ホール  
料金 / 全席指定 3,000円 車いす席 2,400円 小～大学生 1,500円 **チケット発売中**  
曲目 / Romantica: エマニュエル・セジオルネ、月夜に: 竹内誠、森の記憶: 内藤明美 ほか



### 福井マリンバセミナー2018

期間 / 8月19日(日)～22日(水)  
会場 / ハーモニーホールふくい 全館  
募集人数 / ソロ・コース26人程度、デュオ・コース2組(4人)程度  
応募資格 / 大学に在籍しマリンバを専攻する学生、または同程度の実力を有する方  
・マリンバの演奏家や指導者を目指している方  
受講料 / 35,000円(1人) ※8/19開催「サマー・マリンバコンサート」入場料を含む  
応募締切 / 7月13日(金) 必着

お問い合わせ・お申し込み (公財)福井県文化振興事業団 TEL.0776-38-8288 (9:00～19:00)

## ハーモニーホールふくい コンサート情報 2018.7.8.9

※ 部は、当ホールの自主公演でP.3～P.11に見どころなどが紹介されています。  
(小学生から大学生まで半額)  
※掲載内容は都合により変更される場合がありますので、予めご了承ください。  
※チケットに関するお問い合わせは、各主催者までお願いします。

**26** 平成30年度 第70回  
福井県音楽コンクール 予選会  
(日) ●大・小ホール ●10:00開始  
●無料  
福井県音楽コンクール運営委員会事務局  
☎070-5080-0592

**9** 月

**1** 花たちのジョイントコンサート  
(土) ●小ホール ●14:00開演  
●全席自由1,000円  
花たちのジョイントコンサート実行委員会  
清水 ☎080-3049-4050

**2** 第48回 琴と尺八  
(日) ●小ホール ●13:00開演  
●無料  
福井県三曲協会 忠源  
☎0778-62-2933

**8** ピアノ教室発表会  
(土) ●小ホール ●12:00開演  
●無料(関係者のみ)  
山口 ☎0776-33-0116

**9** 第17回 こもれ陽の会  
Vocal Concert  
(日) ●小ホール ●14:00開演  
●一般2,000円 学生1,000円  
こもれ陽の会 天恵 ☎090-2120-4922

**14** 泊 真美子 ピアノリサイタル  
ピアノに魅せられた作曲家たち  
～無限なる想像力～  
(金) ●小ホール ●19:00開演  
●全席指定3,000円  
物色尾 ☎090-7084-4530

**15** ピアノ・エレクトーン発表会  
(土) ●小ホール ●10:15 / 13:30開演  
●無料(関係者のみ)  
物中村 ☎090-5171-3878

**16** 2018 カワイ  
インストラクターズコンサート  
(日) ●小ホール ●13:30開演  
●一般券1,800円 学生券1,600円  
カワイ楽器製作所 福井店  
☎0776-23-6327

**17** スマイルコンサート  
(月・祝) ●小ホール ●10:00開演  
●無料(関係者のみ)  
物松松木屋 ☎0776-52-3060

**22** 観月の夕  
(土) ●野外ステージ(雨天の場合:大ホール)  
●17:00開演 ●無料  
物福井市康生津公民館 ☎0776-38-4383

**25** ジュゼッペ・サルパティエーニ  
リサイタル  
～心に響く歌曲を集めて～  
(火) ●大ホール ●19:00開演  
●5席5,000円 A席4,000円  
車いす席4,000円  
ハーモニーホールふくいチケットセンター  
☎0776-38-8282

**8** 月

**2** 第28回  
グレンツェンピアノコンクール福井予選  
(木) ●大ホール ●11:00開始  
●無料  
物グレンツェンピアノ研究会 ☎0995-22-4158

**4** 平成30年度  
福井県合唱コンクール  
(土) ●大ホール ●12:00開演  
●全席自由500円  
物仁愛女子高等学校 高橋  
☎0776-24-0493

**4** 箏・三弦・奏適なサマーコンサート  
(土) ●小ホール ●13:30開演  
●全席自由2,000円  
物正源邦楽会 野沢社中  
☎0776-26-7071 ☎090-6274-4070

**7** 第85回  
NHK全国学校音楽コンクール  
福井県コンクール  
小学校の部・高等学校の部  
(火) ●大ホール ●11:00開演  
●無料  
(未就学児観覧不可/満席時は入場制限あり)  
物NHK福井放送局 ☎0776-28-8850(平日10時～18時)

**8** 第85回  
NHK全国学校音楽コンクール  
福井県コンクール  
中学校の部  
(水) ●大ホール ●13:00開演  
●無料  
(未就学児観覧不可/満席時は入場制限あり)  
物NHK福井放送局 ☎0776-28-8850(平日10時～18時)

**10** 第33回 ムジカフォンテ 演奏会  
(金) ●小ホール ●19:00開演  
●全席自由1,000円  
物ムジカフォンテ 山内 ☎0776-34-1576

**11** すぎもとまさとコンサート  
in FUKUI  
(土・祝) ●大ホール ●16:00開演  
●全席自由6,500円  
物同公演 チケット事務局 ☎0776-97-5187

**12** サマーコンサート  
(日) ●小ホール ●13:30開演  
●無料(関係者のみ)  
物小森 ☎090-5175-1278

**19** サマー・マリンバコンサート 2018  
(日) ●小ホール ●15:00開演  
●全席指定3,000円 車いす席2,400円  
ハーモニーホールふくいチケットセンター  
☎0776-38-8282

**25** 平成30年度 第70回  
福井県音楽コンクール 予選会  
(土) ●大・小ホール ●10:00開始  
●無料  
福井県音楽コンクール運営委員会事務局  
☎070-5080-0592

**7** 月

**16** 2018 カワイ  
ミュージックフェスティバル  
(月・祝) ●小ホール ●10:00開演  
●無料(関係者のみ)  
物カワイ楽器製作所 福井店  
☎0776-23-6327

**21** 第50回  
福井県吹奏楽コンクール  
(中日コンクール県予選)  
(土) ●大ホール ●12:30開演  
●全席自由1,000円  
物福井県立鯖江高等学校 栗田  
☎0778-51-0001

**22** 第50回  
福井県吹奏楽コンクール  
(中日コンクール県予選)  
(日) ●大ホール ●10:00開演  
●全席自由1,000円  
物福井県立鯖江高等学校 栗田  
☎0778-51-0001

反田恭平ピアノ・リサイタル  
全国ツアー 2018～2019  
(水) ●小ホール ●14:00開演  
●全席指定3,500円  
物福井放送 協賛事務局  
☎0776-57-5489  
(平日10時～12時、13時～17時)

**23** 第50回  
福井県吹奏楽コンクール  
(中日コンクール県予選)  
(月) ●大ホール ●10:00開演  
●全席自由1,000円  
物福井県立鯖江高等学校 栗田  
☎0778-51-0001

**26** <越のルビー音楽祭>  
若い芽コンサート 2018  
(木) ●小ホール ●19:00開演  
●全席自由1,000円 車いす席800円  
ハーモニーホールふくいチケットセンター  
☎0776-38-8282

**28** 第50回  
福井県吹奏楽コンクール  
(全日コンクール県予選)  
(土) ●大ホール ●12:30開演  
●全席自由1,000円  
物福井県立鯖江高等学校 栗田  
☎0778-51-0001

**29** 第50回  
福井県吹奏楽コンクール  
(全日コンクール県予選)  
(日) ●大ホール ●10:00開演  
●全席自由1,000円  
物福井県立鯖江高等学校 栗田  
☎0778-51-0001

**30** 第50回  
福井県吹奏楽コンクール  
(全日コンクール県予選)  
(月) ●大ホール ●10:00開演  
●全席自由1,000円  
物福井県立鯖江高等学校 栗田  
☎0778-51-0001

**1** ピアノコンサート  
(日) ●小ホール ●12:00開演  
●無料(関係者のみ)  
物福田ピアノ教室 ☎0776-26-8888

**5** <越のルビー音楽祭>  
スペシャル・チェンバーコンサート  
(木) ●小ホール ●19:00開演  
●全席指定3,000円 車いす席2,400円  
ハーモニーホールふくいチケットセンター  
☎0776-38-8282

**7** うたうた演奏会 2018  
七夕に贈る  
—温故知新“音恋到真”—  
(土) ●小ホール ●18:30開演  
●一般1,000円 小中高生500円  
物コアスグループうたうた 小川  
☎090-2122-8047

**8** スマイルコンサート  
(日) ●小ホール ●9:45開演  
●無料(関係者のみ)  
物松松木屋 ☎0776-52-3060

**10** 第283回  
フコク生命チャリティコンサート  
植村太郎・西川茉莉奈・  
朴 梨恵・荒井結子  
ジョイントコンサート  
(火) ●小ホール ●18:30開演  
●無料(関係者のみ)  
物富国生命保険相互会社 福井支社  
☎0776-24-2322  
※音声ガイダンス後、0番を押してください

**13** <越のルビー音楽祭>  
「オペラへの誘い」Ⅲ  
～カルメン・ハイライト～  
(金) ●小ホール ●19:00開演  
●全席指定3,000円 車いす席2,400円  
ハーモニーホールふくいチケットセンター  
☎0776-38-8282

**14** 2018 カワイ  
ミュージックフェスティバル  
(土) ●小ホール ●10:00開演  
●無料(関係者のみ)  
物カワイ楽器製作所 福井店  
☎0776-23-6327

**15** おかあさんといっしょ  
ガラピコぶ～がやってきた!!  
(日) ●大ホール ●14:00 / 16:30開演  
●5席2,700円 A席2,400円  
物福井県立鯖江高等学校 コールセンター  
☎0120-016-165

2018 カワイ  
ミュージックフェスティバル  
(日) ●小ホール ●10:00開演  
●無料(関係者のみ)  
物カワイ楽器製作所 福井店  
☎0776-23-6327



河野通郎さん(越前市)  
ジャズとクラシックが互いに溶け込んでいる様が印象深い。凄く表現力です。楽器本来の優しい音から力強い響きまでメリハリがあり、楽しく聴けました。

左/ 斉藤姿乃さん(永平寺町)  
右/ 吉田優羽さん(永平寺町)  
上志比中吹奏楽部の金管5人で来ました。あんな高い音が出るなんて驚き。一人一人の表現がすごく伝わってきたので、私も自分の表現をしていきたい。

**スーパー4トロンボーンズ!**  
カーテンコール  
2018年5月12日(土) 開催

「すごい」の一言につきます。今までに聴いたことのない音色、音をきかせて幸せです。  
(10代/男性)

トロンボーンの方達だとすぐに感じられた。福井に来てくれて本当にありがとうごさいます。  
(50代/女性)

息子が来ました。2人ともトロンボーンを吹いていて、富山から楽しみにしてやってきました。とても満足したコンサートでした。  
(40代/女性)

(はい意味で)期待を裏切る演奏。キーも高い金管楽器で素晴らしい音階のスピード!おそれいりました。  
(60代/男性)

終演後は客席の皆さんとフットセッション!

# 多田くにお イラストレーター 福井市

## 絵が描けることで 得な人生を送ってきました

### 多田くにお プロフィール

1941年福井市生まれ。東京農業大学醸造科卒業後、家業である味噌屋(米五)に入社。1986年社長就任。2002年から会長。2003年「入院ベッドで描いた邦ちゃんの糖原病食給日記」出版。2005年食事給日記で「サライはがき絵大賞」受賞。2009年二科展入選。福井断酒会会長。色鉛筆画の教室で講師を務め、約130名に教えている。熱烈な阪神ファン



「毎日、描き続けることが好きなのかもしれません」連続テレビ小説の名場面は半年間、毎日の食事をすべて記録した食事給日記は1年半近く続けました。子どもの頃から絵は好きでした。部活では野球に熱中する傍ら、ポスターやスケッチなどでコンクール入賞の常連。大学生の頃は通信教育で絵の勉強もしました。

一方、生活の中心はあくまでも仕事でした。ところが60歳の頃、必要に迫られて毎日絵を描くことになりました。それは病気がきっかけでした。お酒で身体を壊してしまっただけです。断酒を決意しました。断酒会の講師の先生に「日記をつけるといい。あなたは絵がうまいから絵日記にしたら」とアドバイスされたのです。入退院を繰り返しながら「断酒給日記」を1年間続け断酒に成功。その後、始めの「食事給日記」です。

「身体を気遣った食事を作ってくれる妻への感謝の気持ちもあって、ちよつとやってみようと思ったら、500日も続けてしまっ」

「似顔絵は、片町でお店の女の子を描いて練習したの。随分元手がかかっているよ」似顔絵は、その場で仕上げ

「海外旅行に行く飛行機の中で、周りのお客さん15人ぐらいの似顔絵を描いてあげたことがあります。退屈しないし、初対面でもみんな楽しくなるからいいね」



(株)米五の新店舗「みそ楽」2階の体験スペース。ここで7/12から色鉛筆画教室を開講の予定。6/30にはオープン記念イベントで色鉛筆似顔絵コーナーを実施。電話/090-4326-6880(多田)



スケッチや似顔絵。左は連続テレビ小説「あさが来た」の「その日の名場面」。毎日放送後に描いた



3食×500日続けた食事給日記。食べる前にメモしておいて、食後に約30分かけて描いていた。これはある一日の朝昼晩

## 福井の手しごと

# 化石クリーニング 勝山市

## 石の中の化石を見極め 美しく取り出す繊細な仕事

周囲の石を取り除いて化石を露出させる化石クリーニング。県立恐竜博物館では、地元の勝山市北谷で出た化石を中心に作業を行っています。とても繊細な手仕事で、先端が圧縮空気で細かく振動する専用の器具を何種類も使い分けながら、最初は粗く、次第に化石表面の細かい部分の石を削っていきます。

この仕事を始めて3年目の藤田けい子さんは、「最初は石と化石の区別がつかなかったけれど今は色でわかります」とのこと。一人前になるのにどれくらいかかるか聞いたところ、11年目のベテランの方から、「化石はそれぞれ違うので、なかなか一人前になったとはいえない」との答えが。経験と集中力が必要とされる仕事です。



顕微鏡で見ながら、貝の化石をクリーニングする藤田さん。貝の形がかなり出てきているが、「まだそんなに繊細な段階ではない」そう。恐竜博物館では、ガラス越しに作業を見学できる



クリーニング済みの二枚貝の化石(右)と、作業中の化石(いずれも北谷から出土したもの)



福井県立恐竜博物館 住所/勝山市村岡町寺尾51-11 電話/0779-88-0001

## 逸品拝見

# 越前茶房 和楽 永平寺町

## 絵の中にあるような 立体感ある屏風図

明治時代に建てられた町家の座敷に入ると、向かい合わせに立てられた屏風。片や黒白2頭の象、片や木の欄。見る角度によって象の表情や構図が変化し、屏風の間に入れば象とともに欄の中に入ったかのように。立体感ある世界を間近に感じることが出来ます。

この屏風は祖母の家が所有していたもので、「この置き方が作者の意図したものだと思います」と島田さん。「折り曲げた時の見え方も意識して、相当に力のある絵師が描いたものでしょうね」



「欄と遊象図全屏風」(作者不詳)。江戸時代中～後期の作。丸岡藩主有馬家のものだったとも言われている。近づいたり離れたりと、間に入ったり戻そべったり、いろんな角度から見るのがお勧め



他にも湖上旭江「山水図」、作者不詳「源氏物語図屏風」(写真後ろ)などがあり、抹茶と和菓子をお楽しみながら鑑賞できる。実は、お茶の器が大井戸茶碗だったりとお勧め

住所/永平寺町松岡神明1-70 電話/0776-61-0175 営業時間/11:30~18:00(受付17:00まで) 定休日/火曜日(他に臨時休業あり) 入場料/1,000円(抹茶・和菓子付き) ※中学生未満のお子様はご遠慮ください





## Event Pick up イベントピックアップ

### 金津創作の森開館20周年記念／あわら市・香美市姉妹都市締結10周年記念 やなせたかしーアンパンマンとメルヘンの世界ー 金津創作の森 7/14(土)～10/8(月・祝)

時10:00～17:00(最終入場16:30)  
料一般800円(団体600円)、中・高校生600円(団体400円)、3歳以上・小学生400円(団体300円)、65歳以上・障がい者半額、障がい者の介護者(当該障がい者1人につき1人)2歳以下無料 ※団体は20名以上  
◎月曜日(祝日の場合は閉館、翌平日休館)  
◎(公財)金津創作の森財団(あわら市宮谷57-2-19) ☎0776-73-7800 <http://sosaku.jp/>

絵本原画やアクリル画で魅せる  
やなせたかしの世界

アンパンマンの作者、やなせたかし(1919～2013)の故郷・高知県香美市とあわら市が姉妹都市を締結し10周年。本展では、姉妹都市ゆかりの作家として氏を取り上げ、アンパンマンの絵本原画やアクリル画、「チリンのすず」などの絵本原画、雑誌「詩とメルヘン」の表紙原画など、約120点を展示。子どもから大人まで魅了し続ける、やなせたかしの世界を紹介します。「やなせうさぎ」着ぐるみ来館、アンパンマングッズ販売などお楽しみに。



「銀河鉄道999」メルヘン(©松本零士)

### 一漫画界のレジェンドー「松本零士展」

福井市美術館 6/2(土)～7/8(日)

時9:00～17:15(入館は16:45まで) ※6/2(土)は10:00開場  
料一般800円(団体800円)/大・高生600円(団体500円)/中・小学生300円(団体200円) ※前売りは一般のみ700円、団体は20名以上、障がい者半額 ※展示および介護者1名は団体料金を適用、未就学児は無料、※会期中の月曜日 福井市美術館(福井市下馬3-1111) ☎0776-33-2990 <http://www.art.museum.city.fukui.fukui.jp/>

直筆の漫画原稿やイラスト、アニメセル画を紹介する企画展

漫画界とアニメ界に多大な影響を与えている松本零士は、15歳で漫画家としてデビュー後、「男おいどん」が人気作となるなど話題に。1974年に監督・設定デザインに参加した「宇宙戦艦ヤマト」をはじめ、「銀河鉄道999」などもアニメ化され、その人気は海外でも大きな反響に。本展では、彼の直筆の漫画原稿やイラストの原画、アニメのセル画などを展示し、60年以上にわたって活躍し続けた歩みを紹介します。



「詩とメルヘン」の表紙原画(©やなせたかし)

この夏、文学の中のスポーツを体感しよう!

9月29日から始まる「福井しあわせ元気」国体・障スポに合わせ、スポーツと文学をテーマにした大型企画展「スポーツと文学」を開催します。正岡子規や三島由紀夫などスポーツに熱中する作家や、「一瞬の風になれ」「パッテリー」などスポーツをテーマにした物語、「空への助走」「俺たちの行進曲」などスポーツを描いた福井ゆかりの文学作品を紹介いたします。

素敵なプレゼントがもらえるクイズやスポーツを体感するコーナーもあります。文学に描かれたスポーツの魅力はこの機会にぜひ味わってみてください。

### 夏季企画展「スポーツと文学」

福井県ふるさと文学館 7/21(土)～10/14(日)

時9:00～19:00(平日)／9:00～18:00(土・日・祝日)  
料観覧料無料  
◎8/23(木)、9/13(木)、9月以降の毎週月曜日(休日の場合は翌日)  
◎福井県ふるさと文学館(福井市下馬町51-11) ☎0776-33-8866 <http://www.library-archives.pref.fukui.jp>

編集後記

社会高齢化の報道には、辟易なさっている方も多いでしょう。本県では出生率の低下による自然減少だけでなく、都会等への転出が転入を上回る状況が続いています。住みやすさ、暮らしやすさで全国トップの地位を保ち続けているのに、これでは立つ瀬がありません。様々な取組みが県内で進んでいるようです。

県立音楽堂でも、学齢期にある子どもたちの育成には、この20年心血を注いで参りました。中でも小学5年生全員を大ホールに集めて迫力のオーケストラを体験してもらおう事業は今年10回目を数えます。最初にホールに来てくれた子どもたちは成人を迎える歳になりました。

そこで今年度、新たに始めるのが「ビジネスパーソンのためのクラシック音楽アカデミー」。本格オペラから「ニューイヤークラシック」まで、オーケストラ音楽を楽しむためのヒントを働く世代の人々に伝えようという企画です。生活を豊かにするだけでなく、ビジネスパーソンとしての魅力もアップ。参加者同士の交流が、想わぬビジネスシーンを生み出すことにも期待したいものです。

- 8/25(土) 福井県立若狭歴史博物館 講堂  
夏休み宿題応援企画  
「恐竜から鳥をつくる:  
ネオベナートル、フクイラトル、  
羽毛恐竜からわかること」  
13:30～15:00 ●無料  
福井県立若狭歴史博物館 ☎0770-56-0525
- 8/26(日) 福井県立恐竜博物館 講堂  
特別展講演会  
「獣脚類恐竜の進化と鳥類の起源」  
14:00～15:30 ●無料  
福井県立恐竜博物館 ☎0779-88-0001
- 8/29(水)～9/2(日) 越前市いまだて芸術センター  
第39回大野市美術展  
8/29-30 9:00～17:00, 8/31-9/1 9:00～20:00,  
9/2 9:00～16:00  
●無料  
大野市教育委員会 生涯学習課  
文化振興室 ☎0779-65-5590
- 9/4(火) 越前市いまだて芸術館  
懐かしの日本映画(4作品)  
9:00～  
●1作品500円、通し券1,000円。  
越前市いまだて芸術館 ☎0778-42-2700
- 9/9(日) 福井県立恐竜博物館 実習室  
博物館自然教室「三葉虫を調べよう」  
13:00～15:00 ●無料  
福井県立恐竜博物館 ☎0779-88-0001
- 9/15(土) 福井県立恐竜博物館 特別展示室  
特別展ツアー  
「特別展の展示解説第3回」  
13:00～14:00 ●無料  
福井県立恐竜博物館 ☎0779-88-0001
- 9/23(日・祝) 福井県立恐竜博物館 研修室  
博物館セミナー  
「日本の恐竜化石」  
13:00～14:30 ●無料  
福井県立恐竜博物館 ☎0779-88-0001
- 9/30(日) 福井県立恐竜博物館 実習室  
博物館自然教室  
「系統樹をかこう」  
13:00～15:00 ●無料  
福井県立恐竜博物館 ☎0779-88-0001
- 7/29(日) 福井県立恐竜博物館 講堂  
特別展講演会  
「恐竜から鳥をつくる:  
ネオベナートル、フクイラトル、  
羽毛恐竜からわかること」  
14:00～15:30 ●無料  
福井県立恐竜博物館 ☎0779-88-0001
- 8/5(日)～9/9(日) 鯖江市まなべの館 展示ホール1・2 ほか  
企画展 コシノヒロコ展-COLORS-  
9:00～17:00(8/5は11:00～19:30、  
8/8は9:00～19:30)入場は各開館時間の30分前まで  
●大人100円、小人50円  
※鯖江市内在住または通学の高校生以下無料  
鯖江市まなべの館 ☎0778-51-5999
- 8/5(日) 福井県立歴史博物館 エントランス  
キッズミュージアム  
「しょうの船を作って遊ぼう!」  
10:00～16:00 ●無料  
福井県立歴史博物館 ☎0776-22-4675
- 8/18(土) 美浜町生涯学習センター なびあすホール  
なびあすキッズDay  
コメディクラウンサーカス  
●時間未定  
●全席自由/一般500円、中学生以下無料(要整理券)  
美浜町生涯学習センターなびあす ☎0770-32-1212
- 8/19(日) 福井県立恐竜博物館 研修室  
博物館セミナー「獣脚類の出現と繁栄」  
13:00～14:30 ●無料  
福井県立恐竜博物館 ☎0779-88-0001
- 8/19(日) 鯖江市文化センター 大ホール  
ノントン みんなであそぼう!  
●午前の部 11:00～/午後の部 13:30～  
●1,500円(当日2,000円)  
(特活) Comfortさばえ ☎0778-52-7430
- 8/22(水) 福井県立図書館  
夏休みおはなしのせかい  
14:00～14:45 ●無料  
福井県立図書館 ☎0776-20-5000
- 8/25(土) 福井県立恐竜博物館 特別展示室  
特別展ツアー「特別展の展示解説第2回」  
13:00～14:00 ●無料  
福井県立恐竜博物館 ☎0779-88-0001
- 7/21(土) 福井県立図書館  
ピカソさがそ!  
10:30～11:30 ●無料  
福井県立図書館 ☎0776-20-5000
- 7/21(土)、8/18(土)、9/15(日) 福井県立桜木図書館 おはなし室  
耳でたのしむ おはなしのせかい  
11:00～11:30 ●無料  
福井県立桜木図書館 ☎0776-20-1530
- 7/21(土)、8/18(土)、9/15(日) 福井県立みどり図書館  
耳でたのしむ おはなしのせかい  
14:00～14:30 ●無料  
福井県立みどり図書館 ☎0776-34-8859
- 7/22(日)、8/26(日) 福井県立図書館  
あそびとえほん  
15:00～15:30 ●無料  
福井県立図書館 ☎0776-20-5000
- 7/26(木)、8/2(木)、9(木)、16(木)、23(木) 福井県立図書館  
夏休み朗読会  
14:00～15:00 ●無料  
福井県立図書館 ☎0776-20-5000
- 7/28(土) 福井県立若狭図書館学習センター  
ウェルカム!子ども企画特別編  
夏休み自由研究対策教室  
10:00～12:00 ●無料  
福井県立若狭図書館学習センター ☎0770-52-2705
- 7/28(土) 金津創作の森 アートコア ミュージアム-2  
開館20周年 記念日祭 記念講演 小林広美准教授  
(京都大学大学院地球環境学)講演会  
「自然と共生する美術館 -アートコアの設計から建設まで」  
14:00～ ●無料  
(公財)金津創作の森財団 ☎0776-73-7800
- 7/28(土)～7/29(日) 福井県立図書館  
ぬいぐるみのおとまり会  
15:00～16:00 ●無料  
福井県立図書館 ☎0776-20-5000
- 7/28(土)～7/29(日) 福井県立子ども歴史文化館  
これきワイワイまつり  
●時間未定 ●無料  
福井県立子ども歴史文化館 ☎0776-21-1500
- 7/13(金)～9/12(水) 福井県ふるさと文学館  
特集展示「ゆかり作家 新刊紹介」  
●平日 9:00～19:00/土日祝 9:00～18:00  
●無料  
福井県ふるさと文学館 ☎0776-33-8866
- 7/14(土)、8/11(土・祝)、9/8(土) 越前市いまだて芸術館  
和紙アート・くすだま教室  
10:00～12:00 ●受講料1,200円/1日(材料代込み)  
越前市いまだて芸術館 ☎0778-42-2700
- 7/14(土)、8/11(土・祝)、9/8(土) 福井県立図書館  
耳でたのしむ おはなしのせかい  
11:00～11:30 ●無料  
福井県立図書館 ☎0776-20-5000
- 7/14(土) 福井県立恐竜博物館 特別展示室  
特別展ツアー  
「特別展の展示解説第1回」  
13:00～14:00 ●無料  
福井県立恐竜博物館 ☎0779-88-0001
- 7/15(日) 福井県立恐竜博物館 研修室  
博物館セミナー  
「爬虫類や鳥類の内耳について」  
13:00～14:30 ●無料  
福井県立恐竜博物館 ☎0779-88-0001
- 7/20(金)～8/31(金) 福井県立若狭図書館学習センター  
夏休み企画展  
「ゲド戦記出版50周年記念  
～子どもも大人も楽しめる  
古典ファンタジーの世界」  
●平日 9:00～19:00/土日祝 9:00～18:00 ●無料  
福井県立若狭図書館学習センター ☎0770-52-2705
- 7/20(金) 福井県立図書館  
孫と楽しむ絵本  
10:30～11:30 ●無料  
福井県立図書館 ☎0776-20-5000
- 7/21(土)～10/14(日) 福井県ふるさと文学館  
福井しあわせ元気国体・  
福井しあわせ元気大会文化プログラム事業  
夏季企画展「スポーツと文学」展  
●平日 9:00～19:00/土日祝 9:00～18:00  
●無料  
福井県ふるさと文学館 ☎0776-33-8866

福井エフエム放送株式会社  
〒910-8553 福井県福井市御幸1丁目1番地1号  
TEL.0776-21-2100 [www.fmfukui.jp](http://www.fmfukui.jp)

株式会社 [www.seiren.com](http://www.seiren.com)

- 車載資材事業
- スポーツ・ファッション事業
- 環境・生活資材事業
- メディカル事業
- エレクトロニクス事業
- ビスコテックス事業